

平成14年度 明和町成人式

140人が20歳の門出

人生の新たな門出を祝う第5回明和町成人式が1月12日、ふるさと産業文化館で厳粛に行われ、男性64人、女性76人の合わせて140人が大の仲間入りをしました。

太鼓で開幕した式典では、斎藤町長が「自分の世界をしつかりと見つめ、責任を持って行動し、見失うことなく人生を自分自身の手で切り開いてください」と激励の言葉を贈りました。



仲間同士と記念撮影する新成人



また、岡安町議会議長ら来賓の祝辞に続き、成人者を代表しての場政幸さんが「新たな心で大人の階段を昇っていきましよう。自分とビッシビッシ戦っていきましよう」、始澤真純さんが「二十歳はまだ未熟ですが、若さはとりえの一つです。今後も地域発展のため力を尽くしていきましよう」などと決意を語りました。会場は、色鮮やかな振りそでやスーツ姿の新成人で華やかな雰囲気になりました。式後は、旧友との再会で思い出話に花を咲かせる姿や記念撮影する新成人の笑顔がふれていました。



成人式を迎えた感想と抱負



的場政幸さん
(大佐貴)

二十歳、それは子どもから大人になる繋ぎ目みたいなものなのだろうけど、まだ大人になった実感を持ってない。子どものころは早く大人になりたかったのに、いざ大人になってしまくと子どもに戻りたいと思ってしまう。少しずつ大人への道へ歩き始め、大人の世界の濁った部分に出くわしても、動じない強い大人になっていきたい。



始澤真純さん
(梅原)

我々の新しい門出をお祝いしてくださった皆様に、御礼申し上げます。二十歳になり成人を迎えることは人生における大きな節目の一つである。古来の元服同様に各人の権利義務取得及び社会参加の一員となることを世間に表明し、成人としての自覚と責任の重さを再確認することであるといえよう。誠に光栄である。